

地球温暖化防止活動普及大使養成講座 環境学習リーダー養成講座

活動を行う団体

國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科児童教育コース春田ゼミ、北海道滝川高等学校（滝川市役所、滝川市こども科学館、滝川市内小学校、滝川市内保育所と連携して実施）

活動の概要

環境教育に長年携わっている公益財団法人北海道環境財団の指導・助言を得ながら、以下の取組を行っている。

【地球温暖化防止活動普及大使養成講座】

幼稚園教諭・小学校教諭を目指し、教育課程を履修する短大2年生を対象に、地球温暖化問題や国民運動の背景等の基礎的な情報、地域や家庭における取組推進における考え方等、基盤的な知見や伝え方のノウハウなどを学んでもらう。将来教員となった時に活用できる環境学習プログラムの企画・実施のノウハウも学ぶ。



普及大使は、総合的な学習の時間で環境について学ぶ市内小学校等で、子どもたちへ直接環境教育を行う。普及大使と小学校とが事前に連携し、それぞれのテーマに合わせた事前学習を行い、子どもたちの理解度を高める工夫をしている。

【環境学習リーダー養成講座】

独自カリキュラムとして「環境共生」に取り組む北海道滝川高校理数科1年生を対象に、市内保育所に通所する4歳児～5歳児を対象にゲームや劇、読み聞かせなどを活用した環境教育を行うための知識と技術を習得してもらう。

子どもたちを「こども科学館」に招いて、スタンプラリー形式で、楽しみながら学べるように工夫した内容で「環境教室」を実施している。



優良事例のポイント

養成講座の受講や自らが先生として子どもたちへ「教える」という活動を通して、短大生や高校生自身が普段の生活と地球温暖化のつながりについて気づき、自らの行動を振り返り、自分自身で考え、人と地球に優しい行動ができるようになっていく。

低年齢層を対象にすることにより次世代の「普及大使」の育成につなげる一歩となるとともに、短大生が環境教育を行うことで、異年齢交流を推進し、地域における環境コミュニティの創造・拡大にも寄与している。